

<p>【技術の名称】 ES工法 [エコスラブ工法] -PCa板と現場施工のRC部を一体化する合成ス ラブ工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第02-08号 性能証明発効日：2002年7月2日 【取得者】 木内建設株式会社</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、プレキャスト鉄筋コンクリート板 (PCa 板) の上部に、所要の鉄筋を現場で配置してコンクリートを打設することによって、PCa 板と場所打ち鉄筋コンクリート部 (RC 部) を一体化して合成スラブ (以下、ES スラブと呼ぶ) を構築する技術である。本技術の特色は、PCa 板と場所打ち RC 部との緊結度を高めるために、RC 部との打継ぎ面側に独自の形状寸法をもつシヤーコッターを配置した PCa 板 (以下、ES 板と呼ぶ) を用いている点である。

【技術開発の趣旨】

本技術は、RC 造床スラブの現場施工の省力化を目指した工業化工法として開発したものである。本技術の応用によって、現場の仮設材としての型枠材料の消費をなくすことができる、支保工をなくすことができる、工期を短縮することができるなど、多くの経済効果を発揮することができる。

【性能証明の内容】

申込者提出の本工法についての設計・製造・施工要項に従って構築された ES スラブは、下記の構造性能を有すると判断される。

- 1) ES スラブのいずれかの部位が長期許容耐力に達する長期床荷重を受けた時、ES スラブ各部に耐久性上有害なひび割れが発生しないこと。
- 2) ES スラブのいずれかの部位が短期許容耐力に達する鉛直床荷重を受けた時にも、ES スラブ各部に著しい損傷が生じないこと。
- 3) ES スラブ内のスラブ筋が降伏点を超過して床スラブが塑性域に至る変形を受けた時にも、PCa 板と RC 部との打継ぎ部の界面剥離ならびに PCa 板相互間に配置されたジョイント筋とコンクリートとの付着破壊などの ES スラブの一体性を損なう破壊が起こらないこと。

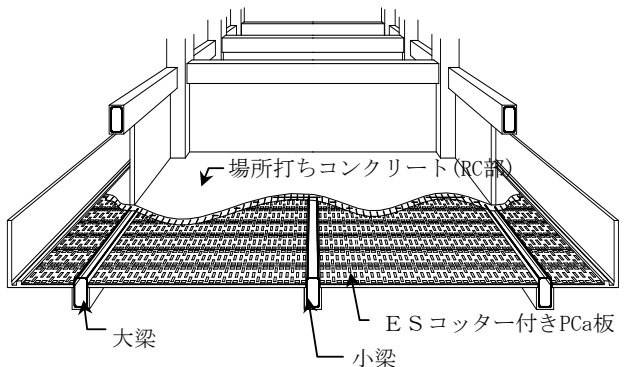


図1 ES (ES コッター内蔵合成床板) 工法の概要

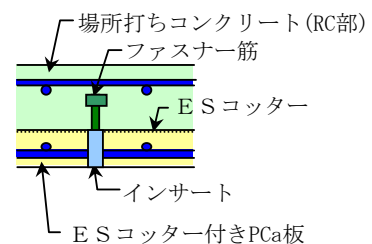
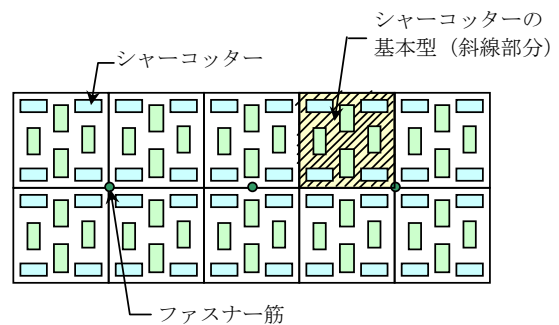


図2 ES コッター付き PCa 板の概要

(本技術の問い合わせ先)

木内建設株式会社 設計部開発課 担当者：筏井 文隆 E-mail : ikadai@kiuchi.co.jp

〒422-8633 静岡県静岡市駿河区国吉田 1-7-37

TEL : 054-264-7127 FAX : 054-265-8725